

人 材 育 成 計 画 書 （その１） 様式－１③

助成取組名	実践 ICT を活用した機械施工		
取組の目的	学生に建設産業で用いられる最新の技術を知る機会とし、重要な社会基盤であるインフラの構築において、近年求められている ICT を活用した施工やDXな、今後のデジタル化に対応し活躍する人材を輩出する。		
取組の対象 (該当に○を付す)	① 建設施工に関する生産性向上	② 社会資本の維持管理・保全に関する生産性向上	③ ①、②に関連する ICT・DX 分野
期待される効果	建設産業に関わる教育として、近年進歩の著しい情報処理技術を用いた機械施工である ICT 施工を実践し、省人化にとりくむ建設産業の現状とともに新たな魅力を知ると機会となる。		
取組の準備状況 ・計画等	これまで、当校では建設産業に関わる基礎的な測量、材料などの授業をおこなってきたが、施工そのものに関わる授業を〇〇年よりとりくむこととした。 県下の建設業協会と連携し講師の派遣、資機材協力を依頼済み。 次年以降にも同様の取組を継続する予定		
人材育成計画書（その１）は最大２枚までとします 必要により、欄が次ページにまたがっても結構です。			
受講者数・時間	取組の対象人数 （ １５ 人） ※クラス定員など計画として確認出来る人員を記入して下さい 取組時間数 （ ２０ 時間：但し６０分/時間） ※取組期間の合計受講時間を記入 ※受講時間として想定される時間あたりの分数も記入して下さい		

記入イメージ

人 材 育 成 計 画 書 （その２）

取組内容	5月から11月までの6ヶ月（夏休み除外）にて、座学とともに実践的な作業を実施する。 ※ICTを用いた計測（測量）・機械施工実習 実習においてICTの効果を計測 12月から3月までの4ヶ月にて効果計測の結果を座学として整理し3月に学内発表を行う。 2週間に1時間の受講を実施する ※10ヶ月の20週で各1時間の受講として20時間 取組は、一定期間をかけた取組の他、短期間の体験授業なども対象とします
取組期間	着手 ○年 5月 ～ 終了 □年 3月
当該取組に関する他機関からの助成の有無（該当に○を付し、有の場合所要項目を記入）	有 { 助成機関名： } 助成期間： ☒ 無

記入イメージ

人材育成助成費用予定内訳書

項 目	金 額	内 訳	備 考
人件費	60,000 円	講習、講義準備にかかわる外部委託として 15,000 円×4 人	
謝金	60,000 円	講師謝金として 20,000 円×3 人	
教育用 資機材 費	280,000 円	建設機械、測量・計測機材借料として 200,000 円 運搬費として 80,000 円	
資材費			
旅費交 通費	80,000 円	施工現場等移動費 マイクロバス借料 2 回	
通信費			
印刷製 本費	20,000 円	テキスト印刷費 報告会資料印刷費	
報告投 稿料			
合計	500,000 円		

(注) 人材育成取組に想定される費用のうち、助成対象としたい費用の内訳を記載してください。